



↑五月晴れの中、生徒が躍動した6月20日の体育会。

平成19年度の重点的取り組み

方城中学校では、平成19年度の重点として、「学力の向上」と「人権意識の高揚」を掲げています。そして、この2つの重点のために、「読む・書く・聞く」の取り組みを全校で行っています。



読む 読みたい本で読書に親しむ

朝の学活の前に10分間の読書時間（朝読書）を取り入れてます。生徒たちが、自分の読みたい本を持ってきて、読書に親しむとともに、落ち着いた雰囲気での授業が始められるようにしています。



書く きめ細やかな学習指導

「わかる授業が探求心や学ぶ力を育てていく」ことをふまえ、ドリル形式のプリントで、基礎学力をつけるために「書く」取り組みを行っています。



聞く 人権について考える

週に1回、北九州市の「明日への伝言板」から放送を流しています。静かに「聞く」という態度を養い、人権について考える時間として位置づけています。



（部活動で、みんな大好きなことに全力で打ち込んで、中学校生活を楽しくしています。）



→栄養満点の調理実習。



→味覚についての実験。



→土肥文くんの作品が、「食生活の健康意識」。

生活の中で、食べ物を通して命をもらい、そしてまた命を渡していく学習のことで、いかに命が大切であるかを「食育」から学ぶことによって、人に感謝することや、自分の生活を見つめなおすことを生徒と教師でともに学びあっています。

活動としては、食生活を見直すことを大きな柱とし、さまざまな実践に取り組みました。1年生は「栄養のバランスを考えた朝食づくり」、2年生は「食の安全性と健康管理」、3年生は「健康的な食生活づくり」を総合的な学習の時間の

テーマとして、学年ごとに個性ある実践を行いました。また、保護者を対象として、年二回の「食育」講演会、食生活アンケート、給食試食会を実施し、「食育」の啓発にも努力をしました。方城中学校では、「食育」を命の大切で、そしてその命を受け継ぐ子どもたちの成長を願うことと捉え、今後も「食」を大切にしていく実践を進めていきたいと思います。



Uniform 制服

自ら考え、人間性豊かでたくましく生きる生徒の育成

方城中学校

校訓 勤礼勤 勞儀勉

校訓



方城中学校は、福智山系の鷹取山のすそ野に位置します。周囲を緑豊かな田園に囲まれ、見晴らしのよい丘陵にそびえ立つ自然豊かな学校です。



全校生徒が一致団結。方城中学校「二大行事」春の体育会と秋の音楽会。

命の営み 「食育」の取り組み

平成18年度に方城中学校は、「田川郡学校給食会」の指定を受け、「食育」の実践に取り組みました。

本校が考える「食育」とは、嘗々と続いてきた命の営みが、また次の世代へと受け継がれていくことで、わたしたちの

校歌

一、平和の曉鐘 なりひびき 赤坂の丘 赤きごと 血潮に燃ゆる 若人は 文化の扉 開くべく 我が学舎に 集いけり
二、生産の町 方城に 育まれたる 一千の 我が雛鳳は 雄々しくも 大空を翔り 海の果て 人類愛の 因たてん
三、天そそり立つ 福智山 流れてつきぬ 英彦川 この山川と きそいつつ 文化の拓士 我が健児 いざ諸共に 進まなん



所在地 福智町伊方 3862 番地 ☎ 22-0237
学校長 異儀田 実 ■ 教職員数 23 人 ■ 学級数 7 学級 ■ 生徒数 219 人

町内の小中学校の特色や取り組みなどを紹介するコーナーです。

